

授業と評価の年間計画

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	
使用教科書（発行所）		新編書道Ⅱ（教育出版）		
履修条件 対象生徒	選択 普通科2年			
学習目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。			
学習方法	<p>【授業】 授業では、作品制作と鑑賞を中心として学習する。書道の知識や技術の習得だけではなく、臨書活動を通して「心」や「感性」を豊かにする。</p> <p>【家庭・補習・その他】 授業時間内で作品を完成させるが、期限に間に合わない場合は放課後等を利用して作品を完成させる。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 期末考査まで</p> <p>ア 漢字の書（篆書）</p> <p>イ 漢字の書（隸書） （創作を含む）</p> <p>2 2学期</p> <p>(2) 期末考査まで</p> <p>ア 漢字の書（草書） （創作を含む）</p> <p>イ 半切（五書体自由）</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末考査まで</p> <p>ア 篆刻</p> <p>イ 漢字仮名交じりの書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書・隸書の成立過程と基本的な点画や線質の表し方と用筆法・運筆法を理解する。 ・筆順・字形の取り方を理解する。 ・古典に基づく学習の意義と創作の関連について理解する。 ・学習した隸書・草書の書体の用筆・特徴を理解した上で創作作品を制作する。 ・各書体の成立過程と基本的な点画や線質の表し方と用筆法・運筆法を理解する。 ・意図に基づく表現の構想と工夫ができるようにする。 ・書表現の一分野としての篆刻の意義を理解する。 ・書道Ⅰでの仮名の復習をした上で、漢字と仮名の調和した線質の表し方、目的や用途に即した形式と表し方を身に付ける。 ・カレンダー制作、人権標語の清書を行う。 		
評価規準	書への 関心・意欲・態度	書表現の 構想と工夫	創造的な 書表現の技能	鑑賞の能力
	書を愛好し、書の文化や伝統を尊重するとともに、個性を生かして意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を高め、書によさや美しさを感じ取り、感興や意図に応じて素材を選定し、個性豊かで創造的な表現を工夫する。	個性豊かで創造的な表現をするために、様々な形式に応じて表現する技能を身に付けている。	書の美の諸要素を把握し、書の現代的意義や日本及び中国の書の歴史・文化などの理解を深め、そのよさや美しさを味わう。
評価方法	「書への関心・意欲・態度」「書表現の構想と工夫」「創造的な書表現の技能」「鑑賞の能力」の観点別評価規準をもとに、①提出物（作品・レポート）②授業態度・意欲・出席状況などを総合的に判断して評価する。			
その他	授業で使用消耗品（半紙・墨液）等は、教材費で賄う。 大筆・小筆・筆巻き等は各自で準備すること。			